

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600339
法人名	社会福祉法人 光明会
事業所名	グループホーム かわせみ
所在地	愛媛県西条市大町776番地23
自己評価作成日	平成25年11月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・西条駅から徒歩5分と近く、分かりやすい立地条件で交通の便が良い。・施設のそばに協力病院があり、急変時のバックアップ体制が整っていて24時間の対応が可能となっています。・コンクリートの建物ですが、中へ一歩入ると温かな雰囲気づくりを大切にされた空間となっており、職員の顔ぶれはほぼ変わりなく、利用者やご家族に安心してもらえる関わりに力を入れています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>9月に事業所内で運動会を行った際には、職員が手作りのピエロやカエル、アヒル等の衣装で利用者は仮装された。「利用者も鏡で自分の姿を見て楽しんでどうか」というご家族からの提案を採り入れて、さらに笑いのある運動会になったようだ。</p> <p>「どんなものが食べたい？」と利用者の希望をお聞きしながら、献立を立てておられる。食材を注文して配達してもらえるようになっており、魚は市場から手に入り、旬で新鮮なものを使って食事作りをされている。食事の試食会を行った際には、カツの衣のパン粉を細かくして義歯に挟まらないようにしていることや、キャベツをやわらかく湯がいていること等の工夫点を説明された。参加者の意見等も踏まえて栄養の偏りがないように、料理本を購入して参考にしておられた。台所から食事を作るにおいがたぐい、職員が台所に立つ様子がよく見える。</p> <p>一日おきに入浴できるように支援されており、現在は夕食の後に入浴できるように支援されている。浴室には大きな浴槽があり、富士山のポスターを貼ってゆっくりできるような雰囲気を作っておられる。又、季節に応じて菖蒲やゆずを浮かべて楽しんでいる。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム かわせみ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

高橋 英子

評価完了日

平成25年 11月 8日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 理念にある「共」は利用者、ご家族、職員、地域の方等利用者に関わるすべての人と考えています。理念をロッカー室に掲げ出勤時に念頭におきサービスを提供するように心掛け、朝の申し送り時にも理念を声に出して読み、意識づけしています。	
			(外部評価) 事業所では「共によるこび 共に微笑み そっと背に手を添える 共感できるケアを目指します」と理念を作っておられる。職員がリーダー研修を受講した後から、朝の申し送り時に理念を読み上げるようにされており、より意識した支援ができるよう取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ・地域で認知症予防教室を開き、認知症について話しする機会を持つ事ができました。認知症についての正しい理解を深めていきたい。 ・地域(自治会)と合同で光明会まつりを開催し、グループホームだけでなく、関連グループ全体で取り組み、自治会の人々との交流の場となった。	
			(外部評価) 系列病院内で地域の老人会が敬老会を行う際には、利用者も参加しておられ、職員はお手伝いをされる。調査訪問時には、法人託児所の子どもが遊びに来てくれており、利用者と一緒にボール投げして遊んでおられる様子がみられた。今年で2回目となる「光明会祭り」は、事業所からの提案で併設のケアハウスやヘルパーステーションと合同で開催されている。自治会の回覧板でバザーのチケットを配布して地域に案内し、利用者と一緒に作った作品を販売する等して、顔見知りの地域の方も増えたようだ。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症介護の相談窓口となり相談に応じています。相談に来られた方に介護サービスについて紹介したり具体的な支援の方法をお伝えしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議では、関連病院の方、市の包括の方など各専門の方からのミニ講座を開催しました。講座内容は参加して頂いた方に興味あるもの、自分も取り組めるようなものを取り入れてみました。グループワークで出た意見を職員全体で話し合いサービスに活かすように努めています。</p> <p>(外部評価) 会議は、併設の小規模特養と合同で開催されている。会議には、利用者、ご家族や介護相談員の方等が参加されており、今年度から、「生活習慣病の予防」「腰痛に関して」「試食会」等、「参加者のためになるようなテーマ」を考え、年間計画を立て行っておられる。又、看取り支援の事例について、報告された際には、訪問看護と連携して支援したことや、ご家族が主になりかかわってくださったことをお話され、ご家族からは、「うちもそうありがたい」、地域の方からは「自然な死を支援してくれることはありがたい」等の感想があったようだ。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議に市事業所指導係の担当者に出席してもらい、情報交換の場となっています。事故報告等の提出時、近況を伝えアドバイスを頂いたりしています。市の介護相談専門員にケアプラン等について相談しています。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議がきっかけで、地域包括支援センターの方が認知症やおれおれ詐欺についての寸劇を見せてくださることを知り、敬老会時にお願いをされた。又、会議を通じて市の担当者の方等と顔見知りになったことで、市役所に顔見知りの方がおられることを職員は心強く感じておられた。介護相談員の訪問時には、利用者とお話して希望等を聞いてくれている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束について正しい理解をする為、研修にて全員で学習しています。拘束しないことで起こりうるリスクについても学び、利用者ごとの対応方法を検討し話し合っています。日中鍵をかけず見守っていましたが、行き届かないことがあり玄関にセンサーベルを設置しました。</p> <p>(外部評価) 玄関に、「事業所は身体拘束をしないことを方針にしています」と掲示されている。利用者がひとりで出かけて行かれ、捜索したことがあったため、現在、玄関にセンサーベルを付けている。又、ベッドからひとりで立ち上がる際、転倒の心配がある方には、柵に鈴を付けたり、足元にセンサーマットを敷いたりして、職員が利用者の動きがわかるようにされていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>不適切なケアとなっていないか、良かれと思う発言でも結果的に虐待となっていないか、常に意識しています。認知症について正しく理解し、ケアの質を高めるよう職員全体で学んでいます。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者に成年後見制度を利用している方がいます。成年後見人の方から教えてもらう機会が増え、難しさも学びました。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>GH利用前に十分に説明し、不安や疑問を尋ねるようにしています。又、契約内容改定の際、家族会で皆さんに説明し、その都度理解をもらえるようにしています。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、利用者・ご家族に参加してもらい、グループワークで市の方や相談員、地域の方といった外部の方との交流に話す場があります。ご家族には年2回、家族会を開催し要望等を話し合う場としています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族へは、毎月、利用者の暮らしの様子を「連絡表」にて伝えておられ、「日中・夜間の様子、食事や入浴・活動、コミュニケーションや訴え、希望」等の項目ごとに記入し、写真も添え報告されている。又、季節ごとの「かわせみ通信」では、利用者が行ったことを伝えられるよう、写真入りで発行し好評である。「お願いとお知らせ」欄には、不要タオル等の寄付をお願いしておられ、協力して下さるご家族も多いようだ。家族会時には、ご家族だけで話をする時間を設けておられたが、「職員が居ても言えるから」と意見があり、現在は、職員も同席されている。9月に事業所内で運動会を行った際には、職員が手作りしたピエロやカエル、アヒル等の衣装で利用者は仮装された。「利用者も鏡で自分の姿を見て楽しむではどうか」というご家族からの提案を採り入れて、さらに笑いのある運動会になったようだ。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月/1回 運営委員会を開催し、代表者・施設長・管理者・職員が運営状態について話し合っています。現在、業務内容について見直しを行い、各職員の考えをまとめ話し合っています。	
			(外部評価) リーダー研修を受講された職員は、「これまで管理者に頼ってばかりいた」ことに気付かれた。そのことを機に、業務等、気付いた職員が行うような取り組みをすすめておられる。職員は、手作りであたたかい小物等を作って共用空間をしつらえておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は職員がやりがいを感じ働くことができるよう、今回新たに予防接種の項目を就業規則に増やし、職場環境・条件整備に努めています。考課表には各自のコメント欄があり、職員がどう感じ働いているかを記入し、各自の思いを知る方法のひとつとなっています。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員全員が職員個々の力量にに応じた外部研修に参加できるように計画しています。又、内部研修は月/1回行い、ケアの質向上に繋げています。各職員の得意分野をより伸ばせるよう、担当を決め担当者を中心に行っています。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GH研修や他の外部研修は同業者との交流の場となり、ネットワークづくりともなっています。今年度、参加したリーダー研修で新たなネットワークが出来、交流の場が広がりました。市内のGH管理者の方、小規模多機能施設の管理者の方などと情報交換し合っています。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用前に自宅へ訪問させてもらったり、本人が今どうしたいのか、どう考えているのかを知ることができるよう努めています。入居時には本人の話に傾聴し、不安の解消に努めています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族に話しを伺い、何に不安を感じているのか、どんな事に困っているのかを知るよう努めています。何でも話しをしてもらえる関係づくりに努めています。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用申し込み時には、介護に行き詰っている事が多く、今の一番の問題に対し、介護方法を話し合ったりサービスを紹介したりしています。またGHに入居する際には、家族や今までの生活の場を離れることが不安であると考え、できる限り家族やなじみの人と接する機会を多くもってもらえるようにしています。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) くつろいで 家族や仲間と一緒に過ごせる居心地の良い居場所をつくりたいと考えています。利用者が自分の生活リズムのなかで役割や居場所を見出していけるよう支援しています。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者がその人らしい暮らしを送ることができるよう ご家族と職員が話し合い支援内容を考えています。ご家族と本人との関係が良好に継続されるよう連絡調整しています。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 併設のケアハウスからGHへ入居された方、今まで通りケアハウスのあんま機を利用したり、なじみの職員との会話、俳画教室への参加等、継続できるもの大切にしています。遠方で生活されているご家族の方が本人の不安の軽減にテレビ電話を本人の部屋にセッティングして下さり、本人が使用できるよう支援しています。	
			(外部評価) 以前の仕事や踊りや俳句の仲間が会いに来てくれて、おしゃべりを楽しまれたり、絵が得意な方は併設施設の俳画教室に参加されており、描いた絵を出展して入賞されたこともある。事業所内で運動会を行った際には、利用者のご家族が手をつないで入場するような場面を作られた。利用者がひとりで行かれて行かれて捜索された際、ご自宅の裏の方にも協力いただいた。その後、事業所にも立ち寄ってくださったようだ。終末期に医療行為を望まない方で「家に帰りたい」と言われる方がおられ、お正月にご自宅で過ごせるよう、ご家族と共に支援された事例がある。利用者は「やっぱり家がええ」と感想を話されたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が間に入りコミュニケーションをとることで、仲間意識ができ、体調が悪かったりすると労わり合い、助け合う事が出来ています。場にそぐわない行動がある場合のフォローをいろいろバリエーションを工夫して関わっています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院によりGH退居された方を見舞い、家族の話を伺い、話の内容によりワーカーに繋いでいます。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者が何気なく発する言葉の中に思いを知る機会があり関わりを大切に接し今どうしたいか・どう感じているかを知るよう努めています。生活歴や生活習慣等も含み本人の言葉を大切にし意向を伝える事が難しい方は表情や情報から思いを推し量る様努めています。毎月連絡表を作成する際に今の思いをご家族に報告出来るように内容を検討しています。 (外部評価) 職員は、夜勤時にゆっくり利用者のお話を聞くようにされており、介護計画作成時には、利用者の「生活のこだわり」「大切にしている場所」等、数項目についてアセスメントされている。ご家族へ毎月送付する連絡表の内容も、介護計画に採り入れられている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に本人や家族、サービス事業所等に情報を得ています。入居後、来客の方からの情報や、生活していくうち知り得ることもあり、記録に残しておくようにしています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その人の1日の生活の様子や言動、体調やADLなどについて月1回 連絡表にまとめることで現状を把握しています。その状態に応じ支援内容を合わせて検討し、対応しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族に意向を伺い、意向の実現にはどうすれば良いかをみんなで話し合い、プランを作成しています。協力病院のDr・PT・ST等、専門の方からのアドバイスを本人、ご家族を交えカンファレンス出来る体制となっています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時に職員が加わり、暮らしやケアの希望を聞きとり、職員個々の担当職員が介護計画を作成されている。</p>	<p>現在、事業所では利用者個々の「プラス面とマイナス面」の把握に努め取り組んでおられ、今後はプラス面を活かして「本人らしい」支援ができるような介護計画の作成に取り組むたいと考えておられる。利用者の暮らしの希望や意向をもとにした利用者主体の支援に取り組まれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一日の様子を時間ごとに記録する様式を使い、ケア内容や気づき・工夫を記入して職員が情報を共有しケアに活かしています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生活していく上で発生するニーズに対応できるよう柔軟な考えで対応しています。出来ることから実行に移して行うよう努めています。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>GHの周りにある地域資源を大切に、利用者が培ってきた地域との関係を継続できるよう支援しています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) かかりつけ医との関係を良好に保てるよう、本人・ご家族の希望をきちんと伝え、今後についても話し合い、緊急時にも対応してもらえるようになっています。訪問診察ではくつろいで生活している利用者の様子をDrに知ってもらう機会となっています。歯科では義歯の不具合から生じる不穩に対し、早急な対応があり落ち着いた生活ができています。</p> <p>(外部評価) 隣接に系列医療機関があることを利用者やご家族、職員は心強く思っておられる。利用者の入院時には、ご本人の状態等をみながら早期退院できるよう相談されている。調査訪問時、歯科から電話で受診の連絡があり、職員が同行して支援されていた。以前来てくださった法人の理学療法士の方に習って、現在は職員がお手本となってリハビリ体操をされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 個々の利用者について情報を伝え相談できる関係となっています。アドバイスをを受けたり、受診の判断をしてもらっています。看とりのケースで訪問看護との連携の際には、自分達の知り得た情報の大切さを感じ報告出来ました。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院中ほぼ毎日面会し、本人だけでなくご家族も安心できるよう話をしています。骨折手術後 GHからリハビリに通院することで早期退院できるようワーカーと積極的に話し合っています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 利用者のご家族に看取りを含め今後どうしたいか、入居時から希望をうかがうようにしています。GHのできる支援内容を説明しご家族が感じている不安や心配を聞くようにしています。訪問看護との連携、協力医療機関の看護師、法人の看護師とのネットワークがあり協力して支援できる体制づくりとなっています。</p> <p>(外部評価) 重度化や終末期の支援について、管理者は事業所全体の介護力等を見て、「出来ないことは無理しない」ことにされている。ミキサー食が必要となった場合、法人施設の厨房で作ったものを提供してもらったこともある。自然な最期を希望され、事業所で支援された事例がある。事業所内では、利用者の状態に応じて、「誤嚥性肺炎について」等、勉強されたり、利用者との距離をとっていたご家族へも会いに来ていただけるよう声をかけられた。医師とご家族の話し合いの後、終末期の方針が揺らぐようなご家族もおられるが、ご家族で話し合うことをすすめられたり、管理者はご家族と話し合い、利用者ご本人の希望等を伝えながら、一緒に考えるようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 病院の勉強会や研修にて、応急手当等について学んでいます。病院が近くストレッチャーで搬送した方が早い為、連絡体制についても話し合っています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回防災訓練の際、利用者を職員ひとりで屋外に避難させられる方法、いざという時に動けるよう実際に行っています。又、水害時に2階に避難する訓練も行っています。地域の方、協力病院にも避難場所を伝え、協力体制があります。今年の光明会まつりの収益で備蓄品の補充を行いました。 (外部評価) 日中と夜間を想定して年2回避難訓練を行っておられ、職員が2人で介助して利用者を避難させる方法等を実際に行ってみられた。災害時には、系列施設や病院が地域の避難場所になっている。光明会まつりの収益で乾物等の備蓄を準備された。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者を年長者として敬い、安心し尊厳のある暮らしができるよう対応に努めています。自分や家族だったらどう感じるかを考え、介護する側される側といった表面的ではない親身なかかわりに努めています。トイレやお風呂といった際にはプライバシーに十分に配慮しています。 (外部評価) 職員の入れ替わりも少なく、利用者は馴染みの顔がそばにすることで、とても安心をされているようだ。又、おしゃべりが好き、お話の合う方同士でテーブルを囲めるように座席を配慮されている。食事したことを忘れることが見られる利用者には、あとで食事したことを確認できるように、ご自分で服薬したこととともに食べたものをノートに書いておけるよう支援されていた。終末期を過ごされる利用者の方に、職員は、ご本人が心地よいと思われる「父ちゃん」という呼び方で呼ぶようにされた。ご本人はよい顔をして笑われたようだ。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 普通の生活の中で、利用者とのスキンシップを図り、寄り添った話を傾聴するようにしています。利用者が表情豊かに語り冗談を言ったりする中で思いを知ることが多くあります。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 休みたい時ひと休みし、様子を見て声をおかけする、外へと出かけた時、希望に応じ散歩やドライブへ出かける等、その人らしい暮らしが送れるように支援しています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) お花見や祭り見物など外出時に、お化粧を手伝ったり、季節に合ったその人らしいおしゃれができるよう支援しています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理が得意な方は一緒に食事づくりを手伝ってもらい、食器洗いやテーブル拭きなど、その人ごとできることを行ってもらっています。台所が近く、調理の音や匂い等、五感を刺激し、食事を楽しみにしてもらっています。 (外部評価) 「どんなものが食べたい？」と利用者の希望をお聞きしながら、献立を立てておられる。食材を注文して配達してもらえるようになっており、魚は市場から手に入り、旬で新鮮なものを使って食事作りをされている。食事の試食会を行った際には、カツの衣のパン粉を細かくして義歯に挟まらないようにしていることや、キャベツをやわらかく湯がいていること等の工夫点を説明された。参加者の意見等も踏まえて栄養の偏りがないように、料理本を購入して参考にしておられた。台所から食事を作るにおいがたどよい、職員が台所に立つ様子がよく見える。お好きなカレーの日には、自らが洗いものをしてくださるような場面も見られるようだ。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) その人ごとの食事量とし、食欲が減退し体重が減っている方には、補助食品をお勧めしています。又、好みや体調、歯の具合等により献立を臨機応変にし、摂りやすい工夫をしています。水分はこちらで用意しますが、自身で自由にお茶を入れられる方もあります。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 清潔保持と誤嚥防止のため、食後に行ってもらっています。声かけと少しの準備でほとんどの方が行われています。夜は義歯を預かり洗浄しています。協力歯科機関で口腔ケア指導を受けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) ひとりひとりの排泄リズムを把握し、必要な方にはトイレでの排泄が間に合うようトイレ誘導しています。ご自分でトイレへ行かれる方は失敗がなかったかトイレ後の様子を伺い、さり気なく洗濯に預かったり、洗ったものを一緒に干しに行ったりしています。 (外部評価) 誘導等してトイレで排泄できるよう支援されており、トイレ介助時、職員が「力がないから助けてね」と利用者をお願いすると、じょじょに利用者も協力して手すりを持って立ってくださるようになる等、身体機能的にも状態が改善に向かっている事例がある。利用者の中にはトイレのことが気になり、外出に気が向き難い方もおられるようだ。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 起床時、一杯の水を摂るよう勧め、水分補給や軽い運動、ヨーグルトや繊維の多い食品等その人に応じた便秘の予防をしています。腸の動きの悪い方はDrと相談し食前の漢方の服用を援助しています。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その人ごとの入浴の好みを知り、ゆっくり楽しんで入浴してもらえるように努め、現在は全員が夕食後の入浴を希望されています。仲良しの方と入ることによって歌ったりおしゃべりしたり洗身し合ったり楽しい時間となっています。 (外部評価) 一日おきに入浴できるよう支援されており、現在は夕食の後に入浴できるように支援されている。浴室には大きな浴槽があり、富士山のポスターを貼ってゆっくりできるような雰囲気を作っておられる。又、季節に応じて菖蒲やゆずを浮かべて楽しまれている。湯船と洗い場間は、壁沿いの手すりを使って安全に移動できるよう支援されている。入居間もない利用者には、仲良くしている方に誘ってもらおう等して、一緒に楽しめるよう支援されている。利用者の身体状態に応じて、シャワーチェア等の補助用具を揃えておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 就寝前の入浴、ゆっくりした時間、温かい飲み物、仲良しの人とおしゃべり等、就寝前に安心して過ごしてもらおうよう支援しています。お喋りしながらのハンドケアは満足感が高いようで皆さん好まれます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ひとりひとりの薬について薬剤師の協力の下、分かりやすくファイルにまとめています。新しい薬や量の変化時には状況に注意し、症状の変化があれば早急にDr・Nsに相談報告しています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生きがいを感じて暮らせるよう、その人ごと得意とすること・好むことを支援しています。(編み物・調理・ドライブ・読書・音楽など)また、利用者が自分の生活のリズムのなかで役割や居場所を見出していけるよう自然な姿勢で生活の支援を行っています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 行きたい所に行ける支援に努め、自宅の様子が気になる方に同行し自宅まで行き様子を見に行ったり、ちょっと外の空気をとの希望に近くを散歩しています。お祭り見物したい方には危険なく地域の方と関われる所まで見物に出かけています。ご家族もご一緒しました。	現在は、買い物に行きましようとお誘いしても、「行っておいで」と言われる方も多いようだ。利用者の意欲を引き出すようなアプローチ等も工夫して、個々の生活を地域の中に広げていけるよう、取り組みもすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 季節の花を見に出かけたり、初詣等に出かけておられる。利用者によっては、時々事業所の周りを散歩する方もおられる。お墓参りを希望する方もおられ、職員が付き添い支援されている。隣接する系列病院の売店にパンやお菓子を買いに行かれたり、院内の喫茶店でお茶を楽しむようなこともある。会話の中に出てくる場所や行ってみたい場所に出かけてみることもあるが、「以前と違う」「こんなところに連れて来てどうするつもり」と言われることも多いようだ。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が管理している方もおり、外出時本人が使っています。又、こちらで預かっている方には必要時、本人にお渡しし自分で判断して使ってもらうようにしています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人からの希望がなくてもこちらからプレゼントのお礼に電話してはと勧めたり、不安な時、声を聞いてもらったりしています。年賀状には近況の写真と共に書ける方には自分でコメントを記入してもらっています。自室にパソコンをセッティングし、テレビ電話することができる方も居ます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>建物のハード面をカバーし、居心地良く暮らせるよう季節感のある空間づくりを工夫しています。かまぼこ板の再利用は好評です。各担当職員が利用者と楽しみながら飾り付けています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関の利用者個々の靴箱にはお好きな布のカーテンを付けておられ、柄等で個々がご自分で靴を出せるようになっている。長椅子に座って靴を着脱できるようになっている。面会者名簿のそばには、新しい利用者の写真を貼り紹介されていたり、廊下には事業所通信を掲示しておられ、来訪者は利用者の様子を知ってから皆の集う居間に顔を出せるようになっている。居間は、床暖房で足元が暖かいようになっている。廊下から、居間に設置しているテレビの裏側が直に見えるため、職員のアイデアでかまぼこ板でコーナー飾りを作っておられた。廊下の突き当たりにはソファを配置しておられ、ちょっと離れて過ごせる場所となっていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>狭い空間ですが、玄関のちょっとした空間も利用者がひとりになれる場となっています。又、利用者数人がなごやかに談笑して過ごせるスペースがあります。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ホッと落ち着き、くつろげる部屋づくりを本人・ご家族と相談しています。その人ごとの光や温度に配慮しています。使い慣れた鏡台や椅子を置かれたり、ご家族の写真を飾られる等その人ごとにされています。敬老の日にプレゼントした割りばし細工のフォトフレームを居室の入口に掛けてはと、ご家族から提案があり行ってみたいところ好評です。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室にはクローゼットが備え付けられており、衣服を整理してご自分で洋服を選べるように支援されている。居室にテレビ電話を置き、息子さんとお話することを楽しみにしている方がいる。まぶしさを感じる方は、窓からの光の具合をみて居室を移動された。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレの場所が分かりにくくなっている方が多くあり、ドアにトイレの文字を大きく入れています。トイレ内に手すりがあり立位がとれなかった方が現在手すりを使用する事で、立位がとれるようになりました。</p>	